学校番号	3009

令和８年度　工業科（デザイン系）

教科	工業科 （デザイン系）	科目	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ ﾃﾞｻﾞｲﾝ製図	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「デザイン製図」（実教出版）						
副教材等	自作プリント教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

課題図面から作図に必要な情報を的確に読み取り、「正確に美しく、短時間」で描くにはどうすればよいか自分自身で考え、順序立ててドロー系ソフトで作図できる知識と技術の習得をめざします。
指示されたことを再現するのではなく、試行錯誤や失敗を重ねながら、自ら考え、気付く経験をたくさん積んでもらいます。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
・グラフィックデザイン分野（文様、マーク、ピクトグラムなど）に関する製図について日本産業規格及び国際標準化機構を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
・製作図・設計図に関する課題を発見し、解決するために必要な過程や手順を組み立てる力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
・図面の作成をする力、及び図面から制作情報を読み取る力の向上をめざして自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	製図に関する事象について、基本的な概念や基礎的な知識を理解し、図面を正しく読み、作成できる力を身に付けている。	製図に関する事象について、理論的に考えたり、分析したりして、総合的に判断できる。また、その過程や手順、結果及び考え方を的確に表現できる。	製図に関する事象について関心を持ち、主体的・協働的に取り組む態度を身に付けようとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	基本操作・作図基礎	・基本操作 ・ツールバー ・レイヤー ・バウンディングボックス ・数値入力 ・重ね順 ・回転、拡大縮小 ・アンカーポイント	a:手順に沿って図形やマークを描く技術を習得している。 b:図形やマークを正確かつ合理的に描くための手順を考え、組み立てることができる。 c:課題の完成をめざし、意欲的に学習に取り組んでいる。	課題作品 授業観察 定期考査	課題作品 授業観察 定期考査	課題作品 授業観察
	作図応用	・ダイレクト選択 ・パスファインダー ・ブレンド ・アピアランス ・パスのアウトライン ・スタイライズ	a:合理的に作図できるツールを用いて描く技術を習得している。 b:図形やマークを美しく描くための手順を考え、表現することができる。 c:見る側の視点に立ったわかりやすい表現をめざし、意欲的に学習に取り組んでいる。	課題作品 授業観察 定期考査	課題作品 授業観察 定期考査	課題作品 授業観察
後期	マスク・文字組み	・クリッピングマスク ・文字ツール ・文字組み ・アウトライン	a:画像のマスクや文字組みの技術を習得している。 b:画像のマスクや文字組みの手順を合理的に考え、表現することができる。 c:見る側の視点に立ったわかりやすい表現をめざし、意欲的に学習に取り組んでいる。	課題作品 授業観察 定期考査	課題作品 授業観察 定期考査	課題作品 授業観察
	特殊印刷・出力	・ハーフトーン ・オーバープリント ・特色指定 ・リッチブラック ・トリムマーク ・アートボード ・PDF 出力	a:様々な印刷技術を使用するための方法を習得している。 b:表現の特徴と手順を理解し、合理的に表現することができる。 c:見る側の視点に立ったわかりやすい表現をめざし、意欲的に学習に取り組んでいる。	課題作品 授業観察 定期考査	課題作品 授業観察 定期考査	課題作品 授業観察

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度